

九州大学
先導物質化学研究所
非常勤講師 講演会

開催日時：
H25年2月25日(月)
午後14:30～16:00
開催場所：九州大学
箱崎キャンパス
先導研会議室
旧工学部3号館114室

表面プラズモン共鳴法を用いた 有機薄膜の評価とデバイス応用

講師 馬場暁 准教授

新潟大学
研究推進機構超域学術院



表面プラズモンは、ある条件で金属薄膜表面に光を入射させ金属中の自由電子と相互作用を起こすことにより共鳴励起することができ、これにより金属/誘電体（または空気）界面近傍で入射光の数十倍以上の電界強度を持つエバネッセント波が生じる。この表面プラズモン共鳴は、金属表面の物質の屈折率に高感度に変化することから、種々の有機薄膜の評価・制御に有効である。また、金属/誘電体界面でのエネルギー増強を利用した光電変換デバイス、センサー応用など応用へも非常に有効である。

本セミナーでは、まず表面プラズモンの基礎について簡単に述べ、その後表面プラズモン共鳴法を用いた導電性高分子の評価、導電性高分子を用いた表面プラズモン共鳴の制御や、光電変換デバイスなど最近の表面プラズモンを用いたデバイス応用について説明を行う。

問い合わせ先 先導物質化学研究所（箱崎地区）
玉田薫（092-642-2727）